

保育所等訪問支援事業

職員自己評価結果

公表日

令和7年 3月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
体制整備	1	利用希望児童に対して、職員の配置数は適切であるか。	71.4%	28.6%	・限られた職員体制(予算)の中で利用者が増加しているのは、職員の努力によるもの。利用者1人1人の支援という観点では職員数を増やすことが必要。 ・職員配置にもう少し余裕があるとよい。 ・訪問回数の調整で、間隔が空いてしまう利用児童もいる。	・職員体制については、利用人数に合わせて必要な職員数の確保を努めていきたいと思います。 ・子どもの状態や保護者のニーズに合わせて訪問、面談の回数を決めています。訪問予定日に欠席になってしまい、振替の日程が取れない時には、訪問や面談の間隔が空いてしまうことをご了承いただきたいと思います。
業務改善	2	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	85.7%	14.3%	・業務改善に向けて、担当職員全員での定期的な話し合いを行っている。	・担当職員での定期的な会議の中で、実行(支援内容)への評価、改善について話をし、次の計画を立てるようにしています。
	3	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	85.7%	14.3%	・保護者との定期的な面談の中でその意向を把握し、業務の見直し等改善に繋げている。 ・今回初めて評価を行ったため、業務改善改善に繋げるのはこれから。	・保護者との面談の中で、保護者の意向をお聞きしながら、業務改善を行ってます。今年度から始まった保育所等訪問支援事業評価ついても、その結果を基に職員で話をして業務改善に繋げていきたいと思います。
	4	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・年間計画の中で業務内容の確認、改善に向けて話し合いを行っている。	・職員の意見を面談という形で個々に聞くことや、定期的な会議の中で意見を言える機会を設け、業務改善に繋げています。
	5	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	28.6%	71.4%	・第三者による外部評価は実施していない。 ・把握していない。	・虐待防止委員会や身体拘束防止委員会等で第三者の評価を受ける機会がありますが、保育所等訪問支援事業については、外部評価は行っていません。
	6	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	71.4%	26.8%	・児童発達支援センターの正規職員には研修の機会があるが訪問支援員は個人に任せられている。 ・正規職員は行っているが、訪問支援員(会計年度任用職員)は研修を行っていない。(情報セキュリティ研修は受講)	・正規職員(児童発達支援管理責任者)は、各研修を受講していますが、訪問支援員については、研修の時間を確保できていないのが現状です。今後は、訪問支援員の研修についても検討していきたいと思います。
適切な支援の提供	7	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%		・児童発達支援管理責任者を中心に訪問支援員である各専門職員(公認心理師、作業療法士、言語聴覚士等)によるアセスメントや課題の分析等の話し合いを行い、支援計画を作成している。	・今後も児童発達支援管理責任者と訪問支援員で専門的な視点でのアセスメントや課題分析を行い、個別支援計画を作成していきたいと思えます。
	8	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・訪問支援員の勤務がそれぞれ違う中でケース検討、事業内容の確認等の話し合いを年間計画に基づき定期的に行っている	・個別支援計画の作成については、児童発達支援管理責任者と訪問支援員により子どもを第一に考えた検討を行っています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%		・年間を通して訪問先施設の担当者等と話し合いを行い連携を図っている	・訪問支援員がその場で担任から話を聞くことや、児童発達支援管理責任者が訪問先の担任や職員と話をして連携し、訪問先の意向を聞かせてもらっています。
	10	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・支援計画を職員間で定期的に検討、共有し支援を行っている。 ・担当職員で時間を設け、個別支援計画を共有することができている。	・個別支援計画は作成から児童発達支援管理責任者だけでなく訪問支援員も関わり、検討を行っています。作成された個別支援計画に基づいて訪問支援を行っています。
	11	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	85.7%	14.3%	・子ども1人1人に対して子どもの状態に応じて心理検査を実施。さらに訪問支援先での状態も評価しながら支援に活かしている。	・訪問支援での様子を複数の訪問支援員と児童発達支援管理責任者で共有し、アセスメントを行っています。 ・年長児、年中児(病院で検査できる方以外)を対象として心理検査を実施し、その結果について保護者と共有しています。
	12	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・訪問先での子どもの状態、状況に合わせて担当者間で支援内容を検討している。保護者、訪問先にわかりやすい具体的な内容になるよう努めている。	・訪問先での子どもの状態や保護者との面談で聞いた家庭での様子を含めて、個別支援計画に具体的な支援内容を設定し、訪問先、保護者と共有しています。
	13	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			・個別支援計画を基に職員
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	71.4%	28.6%	・児童発達支援管理責任者が中心となりチーム(訪問支援員)で連携して支援を行っている。	・訪問先へは1名で行くことが多いが、訪問支援内容については児童発達支援管理責任者と訪問支援員でチームとして連携し支援を行っています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・児童発達支援管理責任者と訪問支援員が訪問終了後に必ずその日の支援の振り返りを行い、子どもの状態等を共有し支援に繋げている。	・訪問支援終了後は、児童発達支援管理責任者と訪問支援員でその日の支援の振り返り、子どもの状態を共有しています。
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%		・訪問先の保育(教育)に合わせながら(連携することを基本に)支援を行っている。	・訪問先の保育や教育に合わせた支援を行っています。
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%		・訪問実施後は毎回記録を取ることを徹底し、支援の検証、改善に繋げている。	訪問支援後に訪問支援員が記録を取り、それを基に児童発達支援管理責任者と振り返りを行い、支援の検証、改善に繋げています。
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・定期的に保護者の意向確認やモニタリングを行い、見直しも行っている。	・保護者の方や訪問先の意向も確認し、モニタリングを定期的に行いながら、個別支援計画の見直しを行っています。

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	85.7%	14.3%	・児童発達支援センターの相談支援事業の相談支援員、児童発達管理責任者、ケースにより訪問支援員も話し合いに参画している。	・関係機関との連携会議には、利用児童の状況を理解している児童発達支援管理者が参画し、ケースにより訪問支援員も参加しています。
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・児童発達支援センターは公立であり、市役所担当者、保健師、教育機関との連携や、自立支援協議会の参加等の地域の関係機関との連携も行っている。	・市の保育課、障がい福祉課、子育て支援課、健康づくり課、学校教育課等と連携した支援体制ができています。 ・協力医療機関として山崎医院や、その他の医療機関との連携も行っています。
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・定期的な会議等や、就学時のサポート手帳の活用で情報共有等を図っている。	・保護者の方の希望で、サポート手帳へ支援内容等の記入を行っています。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%		・児童発達支援管理責任者は研修に参加し、質の向上を図っている。	・児童発達支援管理責任者は積極的に研修に参加し、質の向上に努めています。
	23	(自立支援)協議会、こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	71.4%	28.6%	・児童発達支援センターとして、所長、相談支援員(相談支援事業)が参加している。(訪問支援員は参加していない)	・自立支援協議会やこども部会は、所長、相談支援員、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・相談支援事業、訪問先と連携を図り、保護者との定期的な話し合いで共通理解が深まるよう努めている。	・児童発達支援管理責任者が保護者と、定期的な面談で子どもの状態について話をしながら、子どもの課題についても共通理解できるように努めています。
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	57.1%	42.9%	・就学に向けての学習会(情報提供)や家族会との連携を行っているが十分ではない。	・就学に向けての学習会や小学校見学会等を行い、就学に向けた情報提供をしています。保護者が参加できる研修については、今後、検討していきたいと思います。
保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・児童発達支援管理者が保護者1人1人に十分な時間をかけて説明を行っている。	・児童発達支援管理者が保護者1人1人に十分な時間をかけて説明を行っています。
	27	訪問先の園に対し、事業の主旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%		・訪問支援を開始する前に、訪問先での子どもの状態の把握と共に事業説明も行っている。	・訪問支援を開始する前に、訪問先の園には事業内容、訪問支援の目的について説明を行っています。
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・個別支援計画書作成前に、子どもの状態、状況の把握と共に、保護者の思い、意向等を確認するための話し合いを設けている。	・個別支援計画については、児童発達支援管理責任者が保護者の意向を必ず確認し、こどもの状態に合わせて作成しています。
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%		・個別支援計画書作成後、保護者に提示、同意を得て、訪問先に個別支援計画書の説明、共有を図っている。	・児童発達支援管理責任者が個別支援計画を保護者に個別支援計画の説明をし、同意を得ています。
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%		・訪問支援実施後、毎回保護者との面談を実施し、相談、助言等の支援を行っている。	・定期的な保護者との面談の中で、悩みの相談に応じることや、必要な助言等の支援を行っています。
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	57.1%	42.9%	・家族会から毎年センターへの要望書の提出、役員さんとの話し合いが行われ、家族会との連携を図りながら支援に繋げている。 ・家族会への支援は行っているが、きょうだい支援は今後の課題。 ・児童発達支援事業で家族会があるが、他園との併用で利用する児童も多く、状況の違う保護者との交流が必ず必要とは言えない。	・家族会の活動については保育所等訪問事業の利用保護者に伝えることや、交流について機会を設けていません。 ・きょうだいの交流の機会も設けていません。 ・今後、保育所等訪問支援事業の中で、保護者の交流、きょうだいの交流ができる機会について検討していきたいと思います。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・児童発達支援管理責任者、状況によっては訪問支援員(CP,OT,ST)も相談に対応し、対応整備に努めている。	・保護者からの相談や申し入れについては、できる限り速やかに対応したいと思っています。対応の体制の整備については、今後検討していきたいと思います。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	42.9%	57.1%	・定期的な通信、発行は行っていないが、児童発達支援センターとしてホームページ、“センターたより”で発信している。 ・訪問支援の度に行う面談の中で、必要な情報提供はできているように思う。	・定期的に通信、発行は行っていないが、児童発達支援センターのHPに事業内容、支援プログラム等の情報を掲載しています。 ・定期的に行われる面談の中で必要な情報をお伝えすることや、手紙の配布により情報発信を行っています。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・子ども、保護者、家族等の個人情報の取り扱いについて十分留意するよう職員間で共有している。市の研修も行っている。	・個人情報については、十分留意し取り扱っています。
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	85.7%	14.3%	・多様化する社会の中で子ども1人1人に合わせた支援に向け、職員間、訪問先、保護者との意思疎通の重要性を認識し努力している。	・よりわかりやすく伝える工夫や、日程調整についても柔軟に対応するように努めています。意思の疎通や情報伝達には、十分配慮して対応しています。
訪問先施設への説明等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%		・訪問先との定期的な話し合い以外にも、必要に応じて訪問、電話等の相談、支援、連携を行っている。	・訪問先との定期的な話し合い以外にも、必要に応じて訪問、電話等の相談、支援、連携を行っています。
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%		・訪問支援実施後、訪問先の希望に合わせて定期的にカンファレンスを行っている。 ・振り返りを行っている所、行っていない所がある。	・訪問支援実施後、訪問先の希望に合わせて定期的にカンファレンスを行っていますが、時間を取ってもらうことが難しく、行えない場合もあります。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%		・訪問支援実施後、毎回保護者と面談を行い、訪問先での子どもの状態、支援内容を報告し共有を図っている。	・訪問支援実施後、毎回保護者と面談を行い、訪問先での子どもの状態、支援内容を報告し共有を図っています。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・訪問先に対して個人情報の取り扱いを説明し、連携を図っている。	・個人情報については、十分留意し取り扱っています。
	40	訪問先の園からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%		・訪問先との連携、信頼関係を築きながら、専門性(CP,OT,ST等)を活かした支援を行っている。	・訪問先と信頼関係を築くことを大事にしながら、相談に応じることや専門性を活かした支援を行っています。